



はじめのいっぽ

令和6年度
4月号

令和6年4月吉日
認定こども園
東野田ちどり保育園
東野田ちどりキッズ・庁舎内
江川 永里子

ご入園・ご進級おめでとうございます。

開園から16回目の春を迎えさせて頂けることに深く感謝申し上げます。

新入園児(キッズ・庁舎内含む)37名をお迎えしています。

3月30日(土)職員会議にて、保育内容の見直しとチャレンジしていく

内容を決めました。「**良い習慣**」が大切な人生に大きく役立ちます。

各年齢ごとの発達を十分に理解しながら「出来た!」「出来た!」を

積み重ねていきたいと思えます。

チーム東野田ちどりとして精一杯の日を走り抜けます。

ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

～ アドラー より～

親子関係を
良くするために…



子どもの潜在能力を
引き出す方法

子育ての二種類の目標

1. 子育ての行動面の目標

子どもを正しく育てるためには、育てていって、結局どういう大人になってもらうかを、いつもはっきりと意識している必要があります。

＜子育ての行動面の目標＞

- 1) 自立する。
- 2) 社会と調和して暮らせる。

わかりきったあたりまえのことのようと思われるかもしれませんが、子育ての現場ではすぐにこれらを忘れてしまうのです。そうして、目先だけの対応に陥って、失敗してしまいます。

2. 子育ての心理面の目標

アドラーでは、行動は信念から出てくると考えています。「自立する」とか「社会と調和して暮らす」というような＜適切な行動＞ができるためには、それを支える＜適切な信念＞が育っていなければなりません。

＜子育ての心理面の目標＞

- 1) 私は能力がある。
- 2) 人々は私の仲間だ。

アドラーは、この二点を適切な信念であると考えています。これが子育ての＜心理面の目標＞で、これがあってはじめて、子育ての＜行動面の目標＞が達成できるのです。この、子育ての心理面の目標、すなわち、2つの適切な信念を思い出してください。「この対応をしていると、子どもは『私は能力がある』と感ずるかな。『家族は私の仲間だ』と感ずるかな。」と、いつも自己点検していただきたいのです。